

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2023-3011-1	利用形態	内部研究	利用する 試料・情報	TMM地域住民コホート調査参加者のうち、健診参加型リクルートでリクルートされた参加者約6.7万人のベースライン調査データ(特に被災状況、社会心理的因子、循環器疾患危険因子)、2021年度末までの住民異動情報データ(総死亡)、人口動態調査死亡票データ(死因)。ゲノム情報は含まない。	
主たる研究機関	岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	地域住民コホート調査参加者における総死亡と死因別死亡の関連要因に関する解析			研究期間	承認日～2027年3月31日	
実施責任者	丹野 高三	所属	いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門		職位	部門長／教授
研究目的と意義	本研究の目的は、東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査参加者の総死亡及び死因別死亡に関連する要因を明らかにすることである。本研究において、東日本大震災・津波災害後の被災地域住民における早世に関連する要因を明らかにすることで、今後起こり得る大規模自然災害後の保健医療対策に資するデータを発信することが期待される。					
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査(TMM地域住民コホート調査)では、東日本大震災・大津波による長期的健康影響を明らかにすることを目的として、調査参加者を対象として死亡情報の追跡を行っている。本研究ではTMM地域住民コホート調査参加者のうち、健診参加型リクルートでリクルートされた参加者約6.7万人のベースライン調査データと2021年度末までの住民異動情報データ、及び、人口動態調査死亡票データを用いて、総死亡と死因別死亡の関連要因を適切な生存分析(Kaplan-Meier法、Cox比例ハザードモデル等)によって明らかにする。特に本研究では東日本大震災・津波災害後の生活環境や生活習慣の変化に伴い悪化が確認されている要因に着目し、被災状況の他に、社会心理的因子(抑うつ、睡眠障害、家族構成)、循環器疾患危険因子(BMI、尿中ナトリウム／カリウム比、腎機能)と総死亡及び死因別死亡との関連を検討する。					
期待される成果	本研究において、東日本大震災・津波災害後の被災地域住民における早世に関連する要因を明らかにすることで、今後起こり得る大規模自然災害後の保健医療対策に資するデータを発信することが期待される。					
これまでの倫理 審査等の経過	【承認番号】HGH25-2 【研究課題名】いわて東北メディカル・メガバンク地域住民コホート調査 【研究期間】2033年3月31日					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	本研究で用いる情報は、匿名化した上で、高度なセキュリティと厳正なアクセス管理が担保されたコンピュータ内に限定して管理する。また、分譲された情報は、いわて東北メディカル・メガバンク機構のセキュリティポリシーに沿ってネットワークから切り離されたスタンドアローンの環境でのみ解析する。					
その他特記事項						
* 公開日 2025年8月4日						